

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	生活環境美化の推進		施策番号	26
主担当部署	部名	部長名		
	経済環境部 都市部	田中 文司 黒田 繁		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち
		基本政策	8	自然と調和した住みよいまちづくり
		施策展開の方向	1	愛着のある美しいまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	地域特性を生かした街並みや市民主体の住みよい良好な生活空間の形成により、誰もが住み続けたいと思える愛着のあるまちをつくります。 市民の美化意識が向上し、身近な生活環境の改善が図られるとともに、様々な団体が主体的に公共施設などの美化活動に取り組む、きれいで快適なまちをつくります。			
施策内容	市民一人ひとりの美化意識を高め、自ら積極的にまちの美化活動に取り組むよう意識啓発活動を推進するとともに、たばこの吸い殻や空き缶など、ごみの散乱を防止し、清潔で快適な生活環境の維持に努めます。 また、公園や河川散策路など身近な公共施設の清掃・保全活動を市民と協働で取り組み、きれいで美しいまちづくりを進めます。			
目標とする状態	自分の住むまちをきれいにしようとする意識が高まり、きれいで美しいまちづくりに取り組む輪が広がっています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	ポイ捨て防止に関する啓発活動日数		—	21日
	美化活動が行われている公園の数		20公園	25公園
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	生活環境美化推進事業		環境美化に関するマナーやルールなどの啓発、ポイ捨てや不法投棄に関する規制、パトロールの実施などにより、ごみの散乱を防止します。	
	身近な公共施設の美化推進事業		公園愛護会活動や市民協働などにより、身近な公園、河川散策路などの美化を推進します。	

## 施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	ポイ捨て防止に関する啓発活動回数	—	21日	↗	7日 33.3%	15日 71.4%	16日 76.2%	23日 109.5%
美化活動が行われている公園の数	20公園	25公園	↗	23公園 92.0%	25公園 100.0%	30公園 120.0%	55公園 220.0%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額		
	事業費合計(a)		2,627	千円	2,629	千円	2,324	千円	2,824	千円	2,874	千円
	人件費合計(b)		4,200	千円	4,400	千円	4,350	千円	4,350	千円	4,350	千円
	トータルコスト(a)+(b)		6,827	千円	7,029	千円	6,674	千円	7,174	千円	7,224	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図			その他の市民ニーズ、意見	
	満足度	施策の値	0.29		↑ 重要度 ↓	← 満足度 →	A 優先的課題 選択的課題 D	B ニーズ充足 現状維持 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境美化の一環として、休祭日におけるごみの回収、資源ごみ等の回収も必要性を感じる。</li> <li>ごみ集積所におけるルール違反が目立つ。防犯カメラの設置や違反者への注意が必要。</li> <li>総合運動公園の花壇や池の管理を徹底してほしい。</li> <li>公園美化のために花を植えすぎて子どもが遊びづらいところもある。</li> </ul>
		平均値	0.32						
	重要度	施策の値	1.23						
平均値		1.20							
					0.32				

### ■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	26-101	生活環境美化推進事業	ごみ散乱防止等の啓発及びパトロール回数	なし	3回	3回	◎	環境美化センター
2	26-102	身近な公共施設の美化推進事業	公園愛護会の延べ活動回数	407日	443日	836日	◎	公園緑地課
3								
4								
5								
6								
7								

### ■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	26-101	生活環境美化推進事業	A	—	A	B	A	環境美化センター
2	26-102	身近な公共施設の美化推進事業	A	C	A	A	B	公園緑地課
3								
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check) へ

**評 価 (Check)**

<b>指標(施策の目標)の達成度評価</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 既に達成している(A) <input checked="" type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	B	左記判断理由	「ポイ捨て防止に関する啓発活動日数」は、啓発やパトロールの強化により、目標を達成する見込みである。 「美化活動が行われている公園の数」は、各地区の協力により、目標を達成している。
<b>「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	A	取組による成果	市内全域でごみ散乱等の防止パトロールを実施し、地域内の問題箇所を把握し、その問題箇所を重点的にパトロールを行うことにより、環境改善が図られた。 公園愛護活動の実施公園数について、各地区に積極的に呼びかけを行い、目標を大幅に上回る成果を上げることができた。
<b>市民意識の反映</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	B	左記判断理由	市民意識調査結果では、満足度がやや低くなっているが、前回調査と比較し、重要度、満足度ともに改善していることから、概ね反映しているものと考えられる。
<b>施策を取り巻く環境変化</b>	ごみ散乱等防止パトロールや監視カメラの設置による不法投棄防止対策の継続実施により、生活環境が改善されている。また、公園などの美化清掃を市民協働で取組み、きれいで快適なまちづくりを進めていこうという市民の意識や関心の高まりが見られる。			
<b>施策推進上の課題</b>	快適な生活環境を維持するためには、地域の課題を把握し、ごみ散乱防止等の中長期的な取組が必要である。公園愛護会団体数や活動人数は増加傾向にあるが、他都市と比べて依然として少ない状況である。公園愛護活動の輪をさらに広げるため、支援の充実や制度の周知をさらに行う必要がある。			

↓ 施策の改善 (Action)へ

**施策の方向性 (Action)**

今後の方向性の判断	<b>取組の方向性</b> [選択]	<input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	生活環境改善のため、不法投棄防止対策を継続的に実施する。また、市民一人ひとりの美化意識を高め、積極的な美化活動を推進するため、公園愛護活動を継続して実施する。
	<b>施策の方向性</b> [選択]	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	愛着の持てる美しいまちをつくるため、市民の美化意識を高め、身近な生活環境の改善を図るための事業を引き続き実施する。